

あきた Biz 12

2021
December
Vol.575

「秋田の魅力を活かした地域経済活性化を目指して
地域課題解決に向けた商工会活動の推進」



国際教養大学カセム学長(右)と県連合会大森会長の対談

新しい生活様式の定着やワクチン接種が進んだことにより、新型コロナウイルスの感染拡大が収まりを見せ、経済活動の再開に向けた動きが活発化してきました。その一方で、本県では人口減少や少子高齢化が急速に進み、地域経済は依然として厳しい状況にあります。

県内21商工会と県連合会は、商工会創生プランのもと、事業者支援の更なる強化に加え、県内の様々な地域課題に一丸となって立ち向かい、地域経済活性化の実現に向けて商工会活動を推進していきます。

本号では、去る10月27日に開催した商工会連合会創立60周年記念「秋田県商工会大会」で講師を務めた国際教養大学のカセム学長と県連合会大森会長が、秋田県経済の活性化について語りあった対談の内容を紹介します。

特別 対談

協働し価値を生み出 ～秋田県の魅力を活かし

国際教養大学 学長 **モンテ・カセム**

1 秋田県の魅力について

秋田県は、美しい自然があり、古き良き文化が根付いている

大森会長 カセム学長は秋田に対してどのような印象をお持ちですか。

カセム学長 秋田を初めて訪れたのは、1975年頃で、その時は世界遺産である白神山地に行きました。自然が好きなので、国際教養大学学長に就任する前から、秋田には何度か来たことがあります。秋田の魅力・強みは、「美しい自然がある」ことと「古き良き文化が根付いている」ことです。

大森会長 秋田は豊かな自然やそれぞれの地域に根付いた伝統文化があるなど大変恵まれた県です。近年では、再生可能エネルギーに注目が集まっていることから、特に風力を活用した取組が盛んです。

カセム学長 今、洋上風力については、日本のエネルギー安全保障面からも大事であり、秋田県にこれまでにない大きな投資が入ります。10年スパンで考えると数千億円の投資が数兆円の収益を生み出すと言われていきます。地域経済にとってこのチャンスを活かしていくことが重要だと実感しています。



モンテ・カセム
国際教養大学学長

モンテ・カセム氏

1947年スリランカ生まれ。スリランカ大学卒業後、1972年来日。東京大学大学院で都市工学を学び、三井建設、国際連合地域開発センターなどを経て1994年立命館大学教授に就任。立命館アジア太平洋大学学長、学校法人立命館副総長、大学院大学至善館学長を歴任。専門は環境とライフサイエンス。2021年6月から現職。

2 地域経済活性化に向けて

今こそ、商工会が企画力を発揮して地方に価値を生み出していく時

大森会長 県内21商工会と県連合会では第2期商工会創生プラン（仮称）のもと、地域経済活性化の取組を進めようとしています。どのようなことが重要だとお考えですか。

カセム学長 商工会組織が一丸となって、社会経済および環境面で新しい価値を創造していくことが重要だと思います。問題ばかりに目を向けるのではなく、その裏側にある可能性を見出すことです。このことが課題を超えて価値を創造していくことにつながります。

大森会長 地域経済活性化の視点を盛り込んだ2期プランの策定にあたり、各商工会地域の経済分析を行い、活性化の方策を模索しています。

カセム学長 それは良い取組ですね。多くの課題に直面している地方が、今こそ素晴らしい企画を出して、国を動かすような取組をしていくべきです。

大森会長 ご指摘のとおり、地方の価値を生み出す企画力が重要なポイントですね。今後、地域経済の活性化のための企画を検討し、実行に努めていきます。

カセム学長 未来の成長のために過去の負の遺産を整理しなければならない時期にきています。地域や組織もっと自信をもって自立しなければなりません。その自立のために、大学と商工会、地域が協働して地域経済の活性化と未来に向けて、暮らし方、働き方、遊び方の革新的モデルを提示し、2期プランに取り組んでいただけたらと思います。

していく時代へ た地域経済活性化に向けて～

大森 三四郎 秋田県商工会連合会 会長



3 地域課題解決のために

地域課題を解決するためには、連携や協働した取組が重要になる

大森会長 商工会は事業者同士の連携や政官財（政治・行政・民間）の地域内連携の取組を進めなければならないと思っています。先ほど学長がお話しされた「価値を生み出す取組」について、そのポイントや具体的な事例などをお聞かせください。

カセム学長 価値を生み出す上で、個々の取組だけでは限界があり、これからは協働の時代になると考えています。例えば、スリランカの地域課題を解決するため、日本の若手技術者とベンチャー企業が、現地と協働した事例があります。スリランカ国民の足となる「トゥクトゥク」を電動化しDX技術を導入することで、より高性能に、より安価に改良しました。数多くの新興国を市場として目指しています。国境を越えて協働し、豊かな発想を融合させたことで、新しい価値が生まれたということです。この様な取組は秋田県でも活用できます。

大森会長 2期プランにおいて、連携や協働を重視した様々な取組を盛り込んでいます。学長がおっしゃるように、個々で取り組むのではなく、関係各所と一体となって頑張ることが大切ですね。

カセム学長 秋田において、新しい価値を創造していくためにも、域内だけではなく域外にも目を向けて、世代を超えた交流を盛んにしてほしいと思っています。



現地との協働により改良を加えたスリランカの「トゥクトゥク」

4 協働と連携を活かした取組

2期プランの推進にあたり大学などとの協働や連携が必要になる

大森会長 この対談を踏まえ、今後、しっかりと実行に移し具体化していきたいと思っています。

カセム学長 何よりも、考えを行動に移さない限り、喜びを味わうことはできません。その喜びや達成感を求めて、皆さんの新しいプランが成し遂げられたら幸いと思っています。

大森会長 商工会組織として、様々な環境変化に対応していくための改革を行っていく時期と考えています。2期プランの推進にあたり、大学との協働・連携を模索していきたいです。

カセム学長 本学としても、商工会や秋田県内の事業者の方々と協働し、新しい価値を生み出していける環境を作ってきたいです。

大森会長 本日は、今後の商工会活動を考える上で、非常に参考となるお話を聞かせていただき、ありがとうございました。国際教養大学と連携して秋田の諸課題解決に貢献できればと思いますので、よろしく願います。

秋田県商工会連合会 会長
大森 三四郎



大森 三四郎（白神八峰商工会 会長）

大森グループ代表。建設業を中心に運送業、製造業、環境事業、介護サービス業、飲食業等、地域のニーズに合わせた事業に取り組んでいる。2003年に八森峰浜商工会（現白神八峰商工会）会長に就任。2009年県連合会理事、2014年から県連合会副会長、2021年5月27日より現職。

「第2期商工会創生プラン(仮称)」の紹介

令和4年4月を始期とする「第2期商工会創生プラン(仮称)」では、個社支援の更なる強化に加え、秋田の魅力を活かした地域経済の活性化を目指し、県内21商工会と県連合会が、それぞれのアクションプログラムに基づいた取組を推進していきます。

アクションプログラムは、共に取り組む共通戦略と、それぞれの地域の強みを活かした独自戦略から構成されています。

独自戦略は、各地域の経済分析に基づいた「域外市場産業強化」や「域内市場産業強化」に関する内容であり、地域経済の活性化実現に向けた取組の象徴で、2期プランの目玉となります。

県連合会のアクションプログラムにおける独自戦略

県連合会は、「21商工会の弛まぬ挑戦に寄り添う連合会」を目指し、2つの独自戦略を設定し、4つの施策を展開することで県内経済の活性化を支援することとしています。



県内21商工会の独自戦略

各商工会が地域の実態を踏まえて設定した「目指す姿」と、その実現のための独自戦略については、次号にて紹介します。

広告

万が一の時に備え、
従業員やご家族を
守ります

経営指導
経営のトータルサポート

生命保障
万が一に備えた
リスク管理サポート

商工貯蓄共済4つの特徴

資金繰り
企業の資金繰り
サポート

貯蓄
資産の充実
サポート

どちらも月々
2,000円
から

あなたも家族もまるごと守る! 頼れる補償の
商工会の福祉共済
全国商工会会員福祉共済



※この紙は再生紙を使用しています。

発行所/秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話/018-863-8491(代)
購読料/1部10円(会費を含む)